勇者汚染
滅ぼした魔王に身体を乗っ取られる女勇者の物語
フルカラーコミック
63ページ
聖華快楽書店

様々な困難の末に魔王城に辿り着き
魔王との最終決戦に挑んだエレノア
そして、その決着はまもなくつこうとしていた
これで終わりよ――！

ク
ククク……
よくぞ
よくぞ俺を殺してくれたな
感謝するぞ
な
何を言ってるの？
負け惜しみにしても
もうちょっとマシなセリフを……
この秘術は死に際でしか使えないからな……
お前のお陰で俺の計画は完成したのだ！

ふふふ
まだ抵抗する気!?
なっ!?
姿が変わった!?
い、いやっ……!
や、やめてっ……!
離れな、さいっ……!!

ひぅうっ……！？
いっ
いやぁあああっ！
そ、そんなところっ……！
ち
力で敵わないからって
こうやって辱めるなんて
卑怯よ！
う、嘘っ……！
どんどん広がっていく！？
い、いやっ、離れ
てっ……！
ひぅうんっ！！

ひぁあああああんっ！
おっ、おっぱい、やめっ……！
よ
鎧も服も溶かされっ……！
こ、こんなのっ……！
あぁぁああんっ！
ずっと
ずっとこの時を待ち望んでいたんだ
エレノアよ
ま魔王っ……！
どういう事！？

俺はお前と会ったその時から
どんどんお前の事が愛おしくなっていったのだ
はぁっ……!?
あっ、いや、それはっ……!
お前を全身で感じたい
お前を愛したい
お前の全てが欲しいのだ
エレノアよ

いやぁあああっ！
遂に
遂に一つになれたな、エレノアよ！
俺の愛を感じてくれ！
ひあぁぁぁあんっ！
やっ、やめ、なさいっ……！
こ、こんなのっ……！
んあぁあっ！
あぁっ
最高だ！
お前の膣はこんなにも締まるんだな！
嬉しいぞ、エレノア
お前も感じてくれてるのだな！
ならば
もっと感じさせてやろう！
んぁぁあああっ！
んあっ
ふぁぁあっ！
くっ

ひぐぅうううっ
おっ、おひりぃいいっ
ああ
エレノア
可愛いぞ！
尻を犯されて
そんなにいいのか？！
ち
違うぅうううっ！！
こ、こんな所、
気持ち、
いい訳っ……！
んあぁあっ
そうか
俺に犯されているのが嬉しいのだな
安心しろ
俺がお前の尻も開発してやる！

あっ
あっ
あっ
あぁあああっ！
もうっ
ダメっ……！！
イッ
くぅうううううっ！
ああ
夢にまで見たエレノアのイキ顔……！
最高だ
なんと美しく淫らなのだ……！！
わ、私っ……
魔王に
こんなスライムにイかされれっ……
嬉しいぞ、エレノア
さあ、最後の仕上げだ
完全に一つになろう
永遠に愛し合おうぞ

んぅううっ……！
スライムに食べられっ……！？
やめてっ……離れ、てっ
そう嫌がるなすぐによくなる
ふっ
あっ
あっ
何、これっ……全部
溶けてくみたい……身も心も、ぜんぶ……
あぁあっ……！

おぉ
これがエレノアの体……
なんと美しく
素晴らしい体なんだ
以前の男の体でいたのが馬鹿らしくなる……
これからは俺が……
いや
私がエレノアとして生きていこう
この理想の体でな
ククククッ
ふはははははは！

勇者様万歳！
エレノア様万歳！
魔王による支配の時代は終わったのだ！
お疲れ様です
勇者様
もう
ティア
勇者様はやめて
私もう戦いを終えて
ただのエレノアに戻ったのよ

ふふっ
そうですね
エレノア様
わたくしはあなたが
魔王討伐の大業を成し遂げると
信じていました
あなたを魔物達から助けた時も
そう言ってくれたわね
……ありがとう
ティア
あなたのお陰で今まで戦えたのだと思う
まぁ
嬉しい……！
わたくしがあなたの助けになれていただなんて
当然じゃない
勇者は一人では戦えない
あなたの応援が力になったのよ
よし旧知の仲である
この聖女とも違和感なく話せているな
記憶の同化も完璧だ
お祭り騒ぎでさぞお疲れでしょう
ここにはわたくしと数名の神官しかいません
ゆっくりと休まれてください
ええ
そうさせてもらうわ

よければマッサージなどさせていただけましょうか？
えええっ悪いわ
あなたもゆっくりしていて
少しぐらいいいじゃありませんか
ひぅぁあっ!?
なんだこの女は？
しかしここで無碍にする訳にもいかないな……
うふっ可愛らしいお声♪
部屋に戻っているわ何かあったらまた呼んで
えぇわかりましたまたお邪魔しますね

んぁぁっ……！
すごいっ
これっ……！
んっ
ふっ
女の体での
オナニー！
さっきは変な女に絡まれたが
人に触られるより
自分でする方がずっといい
あのエレノアの体を思う存分楽しみ
しかもそれで性感を得られるのだからな
あぁぁぁんっ！
おっぱいもっ！
好きぃいいっ……！
クリも
最高っ……！
あっ
あっ
好きっ……！

はぁぁぁんっ！
いいのおっ！
もっと
もっと感じたいぃぃいいっ！
んっ
ふっ
あぁぁぁっ！
大好きっ！
好きっ
好きっ！
女の体
やめらんないぃいいいっ！
最高～～～っ！
いい
あっ
エレノア様
いくらでもイけちゃうぅうううっ！
エレノア様
少しいいですか？
えっ!?
ティ…
ティア!?
ちょっと待って……！

まぁ
エレノア様ったら
はしたない♪
こ…
これは違うのっ……！
その…
しばらくできてなかったから
溜まってて……！
うふふっ
そうですよね
エレノア様も人の子
性欲は溜まりますものね
ふぁあああっ!?
こんなに濡れ濡れで本当にエッチなエレノア様♪
こういう事が好きだったんですね♪

んじゅるうううううっ！
ずっぱっ！
ずっぷぁっ！
ずれるちょぉおおおおっ！
ひぁあああんっ！？
やめっ
全部飲まないでぇっ……！
うふふっ
とーっても美味しかったですよ
エッチなエレノア様♪
あっ
あっ
あぁぁっ……
では
わたくしもいっぱい感じさせてもらいますね

だ
だから
違うのぉおおっ……！
ふぁあああんっ！
何が違うんですか？
おっぱいもクリトリスも♪
あっ
あぁぁんっ！
こんなに敏感で
とってもエッチな体をしていますよ
あぁぁぁっ！
ひぁあああんっ？！
嘘っ
やめてぇえええっ！
それ
感じ過ぎちゃうぅうううっ！
ま
まずい
この女……！
自分でやるより数倍気持ちいいっ……！
なんで聖女のくせにこんなに手慣れているんだ!?
んむちゅっ
ちゅっ
ちゅぱっ
美味しいです
エレノア様♪
ちゅじゅるぅううっ！
ひぁぁあああんっ！
イッ
イッちゃうぅうう！
やめてぇっ
ティアぁあああああ！

ひぁあああああんっ!?
ティ
ティアっ!?
はぁぁぁんっ♪
ずっと
ずっと夢見ていたんですよ
エレノア様とエッチするの♪
あっ
あっ
あぁぁっ……!
そ
そんなに腰
押し付けないでぇっ!
イッたばかりのアソコがぁっ……!
いやぁあああああっ!
イッちゃうぅうううううっ!
ふぁあああああんっ!
イくイくイくイく~っ!
イきますー!
エレノア様のおまんこで
一緒にイきましょ
エレノア様と愛液の交換
したいんです

うふふっ
オナニーなんかよりずっといいでしょう？
ふ、ふふふっ……！
よくも私を弄んでくれたわねティア
なっ!?
その姿は……!?
たっぷりとお返ししてあげるわ
このクリチンポでね
う嘘っ……
そんなまるでおちんぽ…

ほらっ
念願の私とのエッチでイきなさい！
あっ
あっ
あぁっ
あぁぁあんっ！
すごすぎますうぅうううっ！
だ
だってぇえええええっ！
エレノア様が好きすぎて
オナニーしてたんですぅうううっ！
ひぁあああああんっ？！
おっ
おっき過ぎるぅうううううっ！
うふふふふっ
うふふふふっ
聖女のくせにすんなり受け入れたじゃないとんだ淫乱ね？
ふっ
魔王としてやられっぱなしは気に食わんからな
こんなエッチおかしくなっちゃうぅうううううっ
まあ
こいつに責められるのも悪くなかったが……

ふっ
くぅううっ！
ほら
出すわよっ！
ひゃぁあああんっ！
くるううう！
イッちゃうぅうううっ！
すごいいいいっ！
エレノア様との
おちんぽせっくしゅぅうううっ！
ふぅっ
これでどっちが上かわかったでしょう？
はぁ
はぁ
はぁっ……
エレノア様ぁっ……

う
うふふっ
あなたの精液をいただいて
全てわかりました
勇者様は
魔王様になっていたのですね♪
そ、そうか
魔王としての力が入った精液を出したから
魔物化したのね
淫乱聖女に似合ういい姿じゃない？
エレノア様っ！
もっと
もっとエッチしたいですううっ！
ふぁあああっ!?
ちょ
ちょっと
魔物なら魔王に従いなさっ……！
あぁぁんっ！
はっ
はっ
はぁぁぁあんっ！
好きっ
大好き
魔物セックス
最高ですぅううっ！
この女
サキュバスになって
より体の具合も技術も上がっている……！

エレノア様ぁぁっ！
わたくし嬉しいです！
あなたに魔物にしていただけて！
ひっ
うぅううんっ！
ティティア
それならもっと落ち着いて
ふっんぁあっ！
ダメです♪
こんなに気持ちいいセックスやめられません！
ふぁあああ！
エレノア様ぁあああっ！
聖女のくせにここまでサキュバスの適正が高いなんて……！
ううっ！
あっだ
だめだめぇえええっ……！
搾り取られるっ！
くぅううっ！
ひっ
くぅううっ！
これぇえっ！
クリちんぽぉっ！
最高ですぅううっ！

あはぁあああんっ！
魔王ザーメン
またキたぁあああんっ！
あなた様の精子でわたくし
もっとエッチになっちゃいます♪
はぁーっ
はぁーっ
はぁぁんっ！
このっ
エロサキュバス……♪
うふふっ
聖女なのにこんなにエッチでごめんなさい♪
こんなに具合のいいおまんこ
もっと使わないと損よね♪
はい♪
もっといっぱい
わたくしを使ってください
魔王様♪

あはぁんっ！
やっぱりこのちんぽ大好きです♪
何度でもあなたのおまんこ使わせてもらうわよ
んっ
ふぁぁっ……！
ふぁあああんっ！
好き
好きぃいいっ！
大好きですぅううっ！
もう勇者じゃなくて魔王なのにそれでもいいの？
はい♪
だってわたくしももう聖女じゃなくてサキュバスなんですから♪
ふふっ
そうね
あなたは私の側近兼愛人として迎え入れるわ
はひっ
んっ
嬉しすぎてイッちゃいます
んぁぁっ……！
エレノア様♪

んっ
ふぁあああんっ！
出すわよ
ティア！
うっ
くぅっ
イくっ……！
はひぃいいいいっ！
イきますぅうううっ
しゅごひぃいいいいいっ！
魔王ザーメンで
ラブラブ種付けされちゃいますぅうううう！
ふふっ
あなたがこんなにエッチで
私のことが好きだったとはね
はい……♪
ずっと
ずっとお慕いしていたんですよ♪

ねぇ
ティア
私たち
いつまでも友達で……
恋人よね
ええ
もちろんです
何があっても
あなた様と一緒にいたいです……♪
私がもう勇者じゃなくて
魔王でも？
はい
わたくしはエレノア様のおちんぽに
恋してしまったのですから♪
うっ
ふふふっ……
そう
そうよね
ティア
いつまでだって一緒にいましょう
たとえ
この世界にわたくしたちだけしかいなくなっても

さて
淫魔ユースティア
始めましょうか
はい
魔王様♪
これより
地上界の侵略を開始する
以前のように人間を殺し
土地や物資を奪う侵略ではない
我々の目的は――
人間を捕らえ
我々魔王軍の性奴隷として使うこと
捕らえた人間は好きなように犯し
飼育しなさい！
うぉおおおおおおおお！